

食品の安全・安心シンポジウム アンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

食品の安全・安心シンポジウム参加者のシンポジウムの満足度等を把握し、今後のシンポジウムの参考とするため、ご意見等伺いました。

2 調査対象

調査対象：シンポジウム参加者 63 名

調査方法：記述式、オンライン回答

調査日：シンポジウム終了後

回収結果：24 名 (38.1%)

3 結果の概要

○シンポジウムの評価については、説明の内容は約 8 割の人が満足(20.8%)、だいたい満足(54.2%)と回答されました。

質疑応答・意見交換について、約 3 割の人が満足 (4.2%) だいたい満足(29.2%)と回答され、全体としては、約 7 割の人が満足(12.5%)、だいたい満足 (54.2%)と回答されました。

○本シンポジウムで食品に対する不安は減ったかについては、約 6 割の人が減った(29.2%)、やや減った(33.3%)と回答されました。

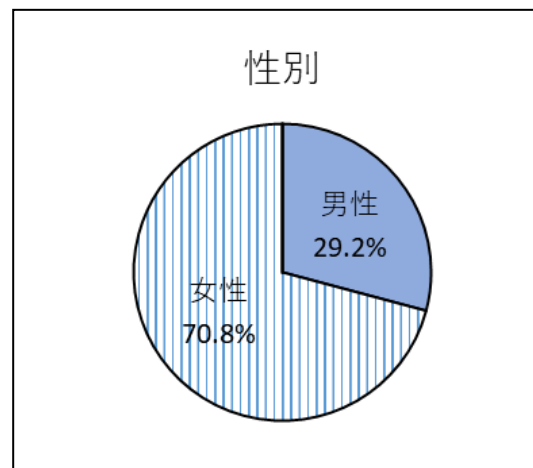
○今後シンポジウムに参加するとしたらどんなテーマがよいかについては、食品添加物が 1 番多く(25.9%)、次いで輸入食品(20.7%)、残留農薬 (19.0%)、食品表示(15.5%)、でした。その他の意見として、ゲノム編集食品の安全性についてという意見もありました。

○今回、初めてオンラインでの視聴を可能としましたが、視聴できなかった、音声が聞こえづらい場面があった等の意見もありました。ただし、オンラインの配信を希望する声も一定数あることから、今後もオンライン配信の実施を検討し、配信環境の改善に努めていきます。

4 回答者属性

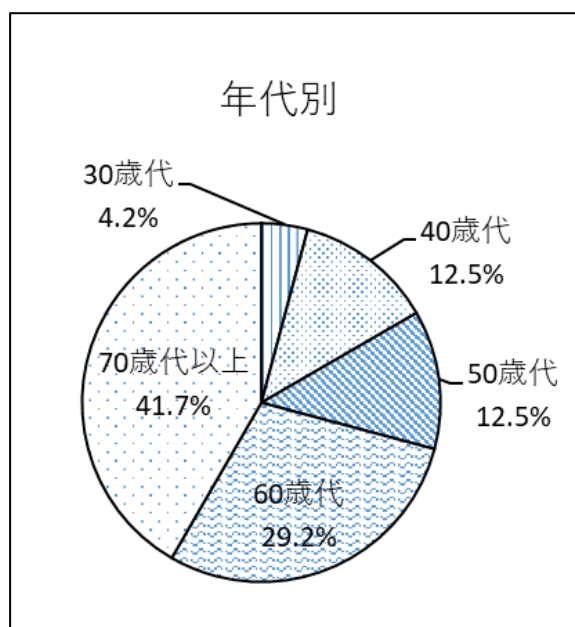
(1) 性別

	人数	割合
男性	7	29.2
女性	17	70.8
無回答	0	0.0
計	24	100.0



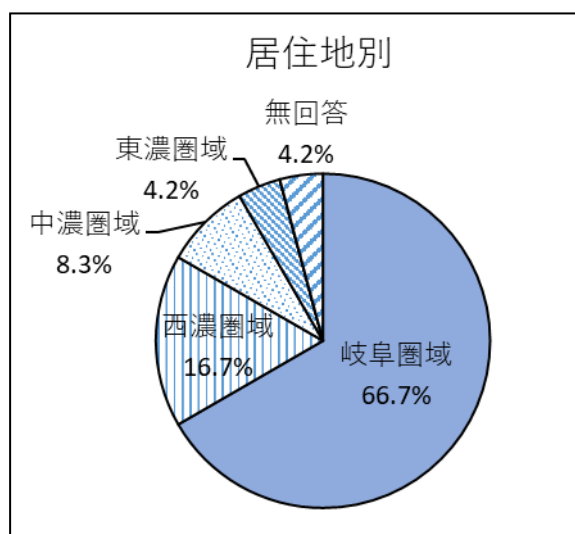
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	0	0.0
20歳代	0	0.0
30歳代	1	4.2
40歳代	3	12.5
50歳代	3	12.5
60歳代	7	29.2
70歳代以上	10	41.7
無回答	0	0.0
計	24	100.0



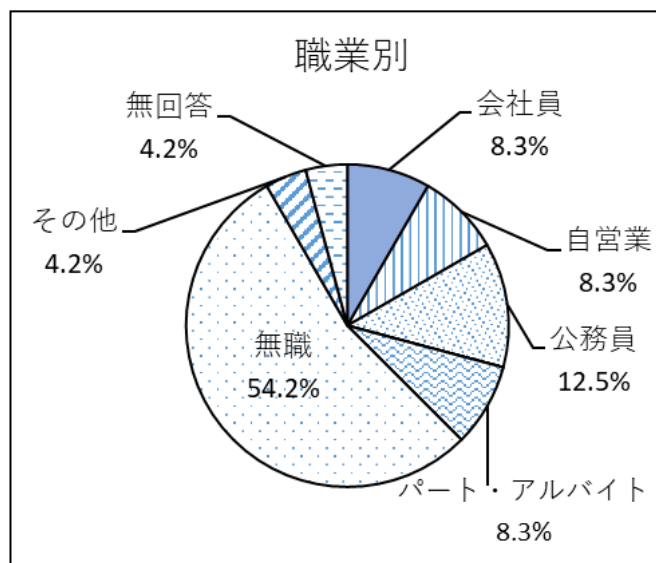
(3) 居住地別

	人数	割合
岐阜圏域	16	66.7
西濃圏域	4	16.7
中濃圏域	2	8.3
東濃圏域	1	4.2
飛騨圏域	0	0.0
県外	0	0.0
無回答	1	4.2
計	24	100.0



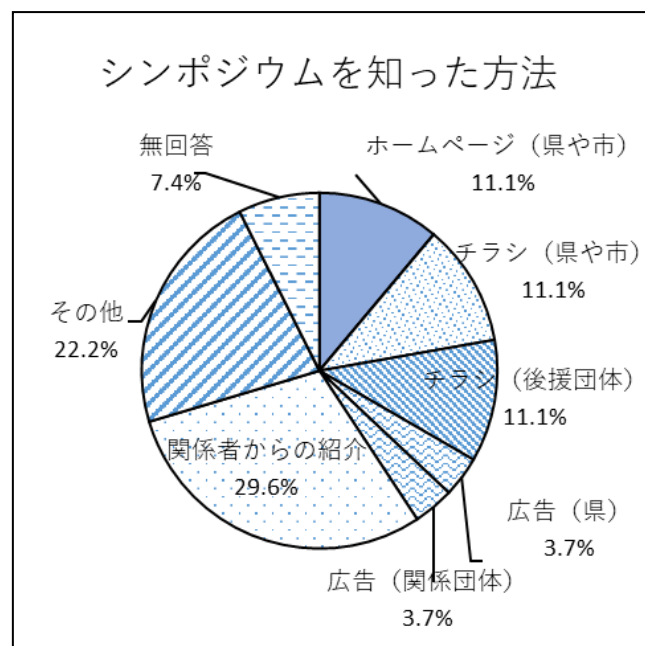
(4) 職業別

	人数	割合
会社員	2	8.3
自営業	2	8.3
公務員	3	12.5
団体職員	0	0.0
学生	0	0.0
パート・アルバイト	2	8.3
無職	13	54.2
その他	1	4.2
無回答	1	4.2
計	24	100.0



(5) シンポジウムを知った方法

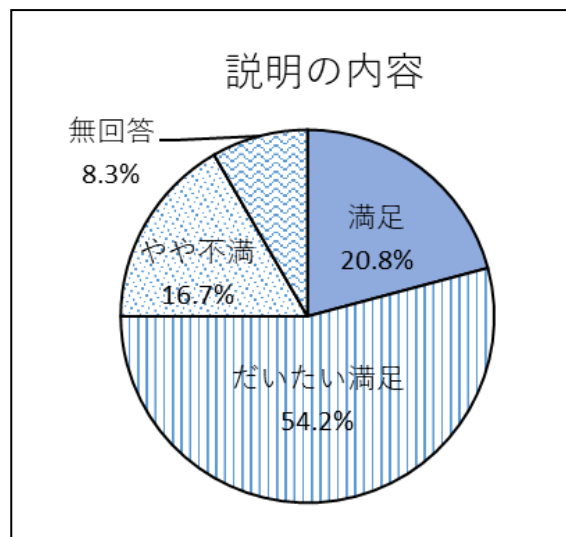
	人数	割合
ホームページ（県や市）	3	11.1
ホームページ（後援団体）	0	0.0
チラシ（県や市）	3	11.1
チラシ（後援団体）	3	11.1
広告（県）	1	3.7
広告（関係団体）	1	3.7
関係者からの紹介	8	29.6
その他	6	22.2
無回答	2	7.4
計	27	100.0



(6) シンポジウムの評価

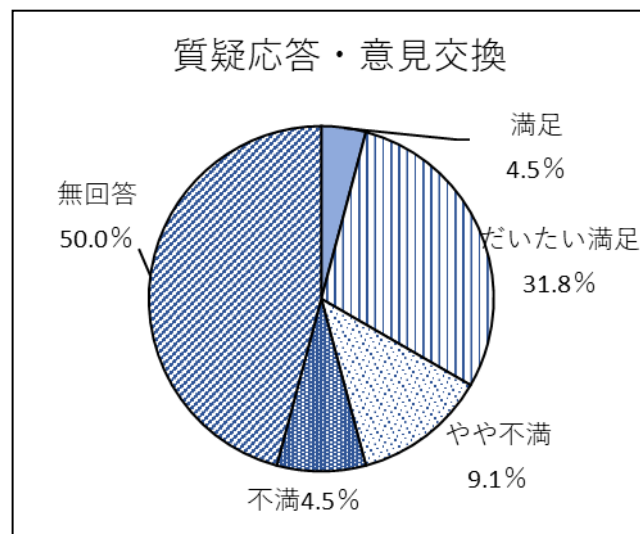
①説明の内容について

	人数	割合
満足	5	20.8
だいたい満足	13	54.2
やや不満	4	16.7
不満	0	0.0
無回答	2	8.3
計	24	100.0



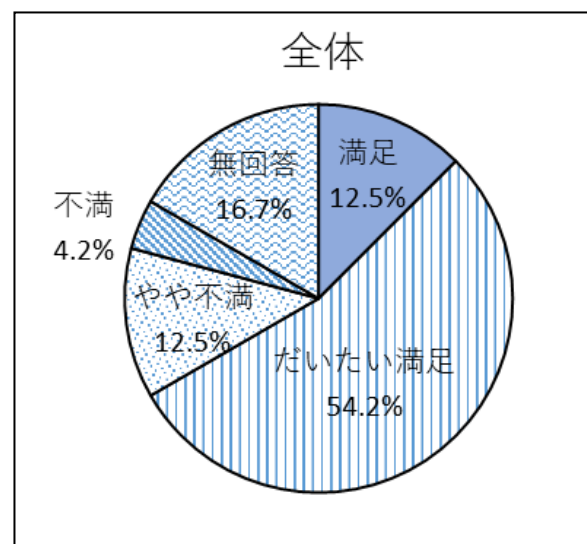
② 質疑応答・意見交換について

	人数	割合
満足	1	4.2
だいたい満足	7	29.2
やや不満	3	12.5
不満	2	8.3
無回答	11	45.8
計	24	100.0



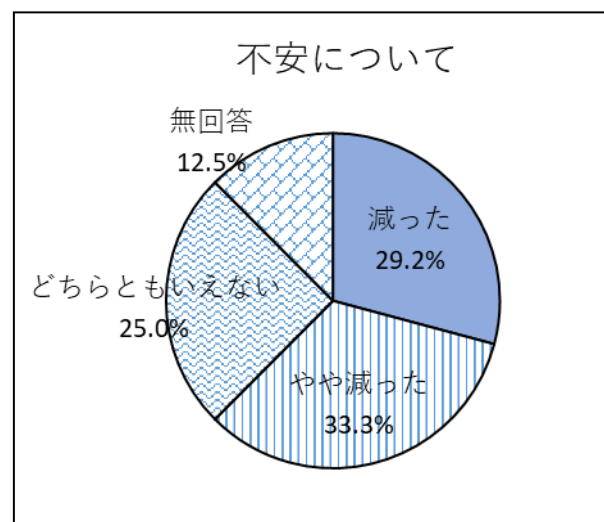
③ 全体について

	人数	割合
満足	3	12.5
だいたい満足	13	54.2
やや不満	3	12.5
不満	1	4.2
無回答	4	16.7
計	24	100.0



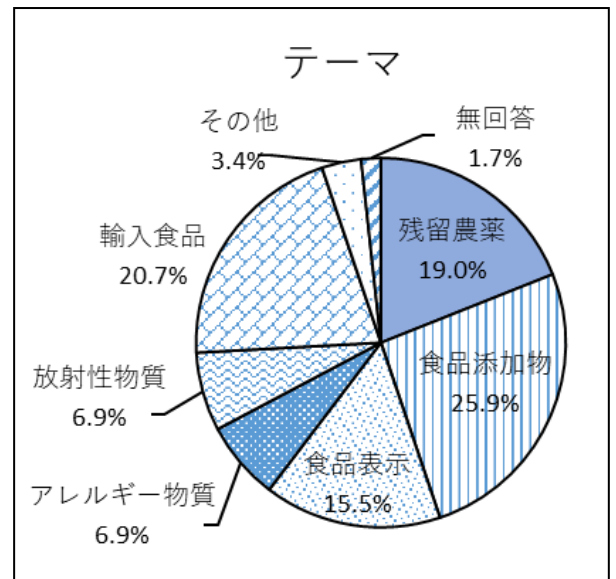
(7) 本日のシンポジウムに参加して、食品に対する不安が減りましたか？

	人数	割合
減った	7	29.2
やや減った	8	33.3
やや増えた	0	0.0
増えた	0	0.0
どちらともいえない	6	25.0
無回答	3	12.5
計	24	100.0



(8) 今後、シンポジウムに参加するとしたら、どんなテーマがいいですか？

	人数	割合
残留農薬	11	19.0
食品添加物	15	25.9
食品表示	9	15.5
アレルギー物質	4	6.9
放射性物質	4	6.9
輸入食品	12	20.7
その他	2	3.4
無回答	1	1.7
計	58	100.0



【その他意見】

- ・健康食品は薬でないことがわかった。薬と食品を併用しないことも理解できた。まずは、主人に話してみたい。医薬品を飲みながら健康食品をたくさん利用しているため。
- ・商品のキャッチコピーに惑わされないように注意したいと思います。
- ・食品のキャッチコピーを少し意識した生活をしたいと思います。

【シンポジウムの様子】

